LHD-ECシリーズ、PBDシリーズ、PSシリーズ用オンラインガイド V03

外付け型　HDユニット　オンラインガイド

このたびは弊社製外付け型HDユニットをお求めいただきまことにありがとうございました。
このオンラインガイドでは、ハードディスクのフォーマット方法をはじめ、製品の取り扱い方法についてガイドしています。
下のボタンから、ご参照になりたい項目をクリックしてください。

使用上のご注意

ここでは製品の特徴と取り扱いについての注意事項についてご説明いたします。
注意事項は、お求めいただいたHDユニットにより異なります。ご使用の製品に該当する項目をクリックしてください。

LHD-ECシリーズをご使用の場合

LHD-PBDシリーズ、LHD-PSシリーズをご使用の場合

LHD-EC シリーズをご使用の場合

- ご使用のパソコンの仕様によっては、PC 電源連動機能が正常に動作しない場合があります。その場合は背面の電源スイッチにて電源の ON/OFF を切り替えてください。
- 動作中のケーブルの抜き差しは絶対に行わないでください。不要なリセットや動作異常を招き、データが消失する恐れがあります。
- Windows 98（Second Editon 含む）にて、本製品を接続してご使用の際、スタンバイ状態から復帰時にシステムが不安定になるような場合は、スタンバイ（省電力）を OFF に設定してください。
- 本製品を接続した状態でパソコンを起動する際、PC 電源連動機能により、本製品の電源が ON/OFF を繰り返す場合がありますが、問題ありませんのでそのままご使用ください。
- 本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生することがあります。
  USB 1.1 ポートへ接続して使用する際もなるべく付属の USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。
- LHD-ECFU2 シリーズをご使用の場合、本製品の IEEE1394 インターフェースと USB インターフェースを両方同時に接続することはできません。
- 本製品はバスパワーでは動作しません。ご使用の際は、必ず付属の AC アダプタを AC100V のコンセントに接続して電源を供給してください。
- 本製品の IEEE1394 ポートはバスパワー出力には対応しておりません。本製品の後に IEEE1394 機器を増設する場合は、増設側の機器がセルフパワーで電源を得られる物でなければなりません。
- 付属の AC アダプタは本製品専用です。他の機器に接続して使用しないでください。
- IEEE1394 はメーカーによって「FireWire」、もしくは「i.LINK」などと呼ばれることがありますが、すべて同じものをさします。本書の中では「IEEE1394」で呼称を統一します。

LHD-PBD シリーズ、LHD-PS シリーズをご使用の場合

- 動作中のケーブルの抜き差しは絶対に行わないでください。不要なリセットや動作異常を招き、データが消失する恐れがあります。
- 本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生することがあります。
  USB 1.1 ポートへ接続して使用する際もなるべく付属の USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。
- パソコン本体やインターフェースボード（カード）などの仕様によっては電源供給性能の問題から IEEE1394、USB 共にバスパワーで十分に動作しない場合があります。このような場合は、別売りの弊社製 AC アダプタ「LA-12W5S-02」または付属の USB 補助電源ケーブルをご使用ください。

使用環境について

本製品の使用環境は、接続形態により異なります。ご使用になる接続形態の項目をクリックしてください。

USB 接続の場合

IEEE1394 接続の場合

USB 接続の場合

製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合の使用条件は以下の通りです。

○対応パソコン

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべてUSBポートを搭載している機種に限定されます。また、High-Speedでの転送を実現するためにはパソコン本体のインターフェースがUSB 2.0に対応していなければなりません。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	Mac mini eMac、MacBook Pro iBook、iBook G4 iMac、iMac G5 Power Mac G5 Power Mac G4、Power Mac G4 Cube Power Macintosh G3 (Blue and White) PowerBook G4、PowerBook (FireWire) PowerBook G3（BronzeKeyborard）

※ バスパワー対応のLHD-PBDシリーズ、LHD-PSシリーズをご使用の場合、パソコン側のUSBインターフェースがUSBのバスパワーに対応している必要があります。

○対応 OS

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下の OS をご使用ください。すべて日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

マイクロソフト株式会社

- Windows XP Home Edition / Professional
- Windows Me
- Windows 98 (Second Edition 含む)
- Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社

- Mac OS X 10.1 以降（※）
- Mac OS 9.0.4 ～ 9.2.2 まで（※）

※ USB2.0 接続にてご使用の場合は、Mac OS X 10.2 以降となります。

IEEE1394 接続の場合

製品を IEEE1394 インターフェースに接続する場合の使用条件は以下の通りです。

○対応パソコン

本製品をIEEE1394インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべてIEEE1394ポートを標準搭載している機種に限定されます。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	Mac mini iMac G5、iMac（USB 2.0）、 iMac（Flat Panel）、iMac（Early 2001） iMac DV eMac Power Mac G5 Power Mac G4、Power Mac G4 Cube Power Macintosh G3（Blue and White） iBook G4、iBook（Late 2001 以降） iBook（Dual USB）、iBook（FireWire） PowerBook G4 PowerBook（FireWire）

○対応 OS

本製品をIEEE1394インターフェースに接続する場合には、以下のOSをご使用ください。すべて日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition / Professional
Windows Me
Windows 98 Second Edition（※1）
Windows 2000 Professional

※ 1 IEEE1394 アップデータ要導入
Second Edition でない Windows 98 では使用できません。

アップルコンピュータ社

Mac OS X 10.1 以降
Mac OS 9.1 ～ 9.2.2まで

この項目の先頭に戻る

フォーマット（初期化）について

ここではハードディスクのフォーマット方法について、ご使用の OS ごとにご説明いたします。
参照したい OS のボタンをクリックしてください。

Windows 環境でフォーマットを行う場合

Macintosh環境でフォーマットを行う場合

注意！

○ フォーマットを行うと、それまでにハードディスク内に保存されていたデータは、全て消去されます。大切なデータは、必ず、あらかじめバックアップを取っておいてください。

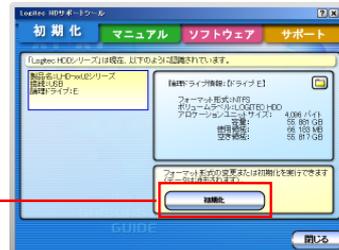
ポイント

○ 本製品を Windows XP、2000 でご使用になる場合は、NTFS 形式で再フォーマットすることをお勧めします。NTFS は Windows 2000 から採用されたファイル形式で、データの信頼度が高く 4GB を超えるファイルを扱うことができます。ただし、NTFS 形式で再フォーマットした場合、Windows Me、98 ではご使用になれません。

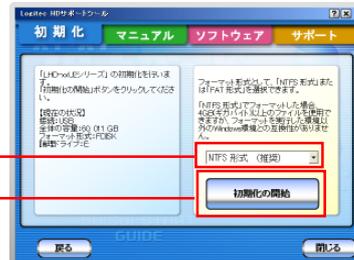
Windows 環境でフォーマットを行う場合

Windows 環境でフォーマットを行う場合は、「Logitec HD サポートツール」の「初期化」画面より実行します。

本製品を接続すると、「Logitec HD サポートツール」の「初期化」画面が右のように表示されますので、ここで「初期化」ボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック

実行の画面に切り替わりますので、「初期化の開始」ボタンをクリックすると、フォーマットが実行されます。

※ Windows XP、2000 の場合は、「NTFS 形式」を選択することをお勧めします。
なお、Windows Me、98 では表示されません。

「初期化の開始」をクリック

ポイント

「Logitec HD サポートツール」から、フォーマット用ソフトウェアをインストールして、フォーマットを行うこともできます。
フォーマット用ソフトウェアのインストール方法、使用方法については右のボタンをクリックしてください。

CD-ROM からフォーマットソフトをインストールする場合

CD-ROMからフォーマットソフトをインストールする場合

本オンラインガイドが収録されている「Logitec HD サポートディスク」には、ハードディスクを複数のパーティションに分けてフォーマットができる「Logitec ディスクフォーマッタ」が収録されています。
「Logitec ディスクフォーマッタ」のインストール方法、使用方法については、下の項目をクリックしてください。

ディスクフォーマッタのインストール方法

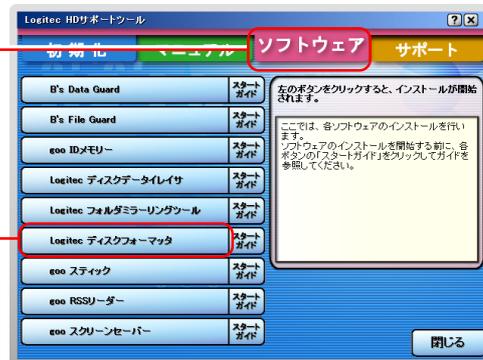
ディスクフォーマッタの使い方

参考

- 各 OS に標準のフォーマット機能を使用してフォーマットを行う場合は、ご使用の OS のオンラインヘルプ等をご参照ください。

ディスクフォーマッタのインストール方法

「Logitec ディスクフォーマッタ」のインストールは、「Logitec HD サポートディスク」をパソコンにセットして自動起動する「Logitec HD サポートツール」の画面より、

①「ソフトウェア」タブを選択し、
② ソフトウェアの一覧から、「Logitec ディスクフォーマッタ」のボタンをクリックしてください。

自動的に、セットアップウィザードが起動しますので、この後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

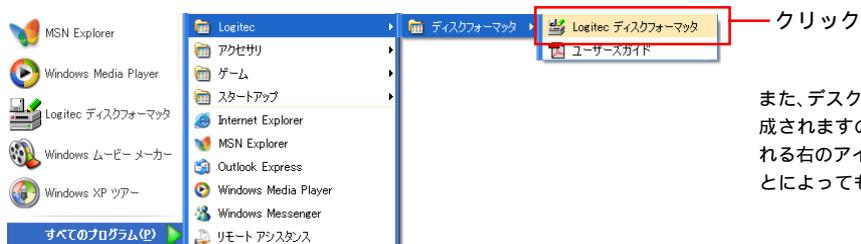
ディスクフォーマッタの使い方

ハードディスクを複数のパーティションに分割して使用する場合、「Logitec ディスクフォーマッタ」を使用します。フォーマット手順は以下をご参照ください。

①はじめに、本製品をパソコンに接続してください。

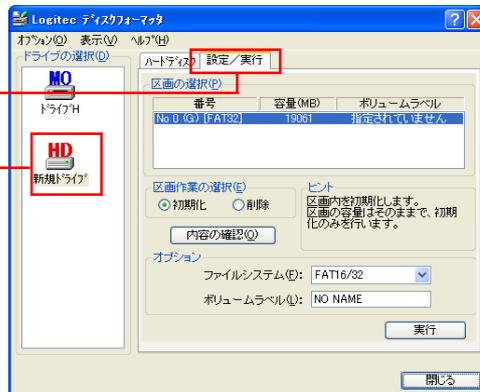
誤って他のハードディスクをフォーマットしないよう、本製品以外の外付け型ハードディスクは全て取り外しておきます。また、内蔵のハードディスクが複数ある場合、誤ってフォーマットしないようあらかじめ、ドライブ名を確認して、フォーマットの際に選択しないようにしてください。

②「Logitec ディスクフォーマッタ」を起動します。

「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「(すべての) プログラム」→「Logitec」→「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。(デフォルトの状態でインストールした場合)

また、デスクトップにショートカットが作成されますので、デスクトップ上に表示される右のアイコンをダブルクリックすることによっても起動可能です。

ポイント

・「Logitec ディスクフォーマッタ」の詳細な使用方法については、「Logitec ディスクフォーマッタ」の「ユーザーズガイド」をご参照ください。

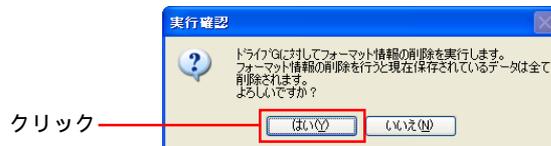
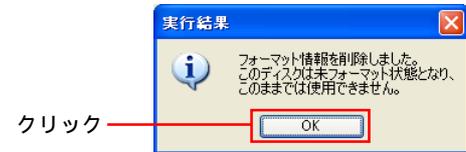
③ フォーマッタが起動したら、「ドライブの選択」リストで、分割してフォーマットを行うハードディスクを選択して、「設定／実行」タブをクリックしてください。

④ 選択したハードディスクに関する情報が表示されます。
また、FAT32 ファイルシステムを使用したい場合は、「このドライブで FAT32 ファイルシステムを使用する」チェックボックスをチェックしてください。（このチェックボックスをチェックするためには、「オプション」メニューの「環境設定」で FAT32 ファイルシステムが使用できるように設定されていなければなりません。）

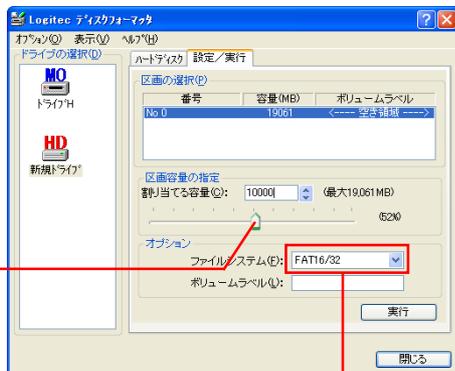
ご注意

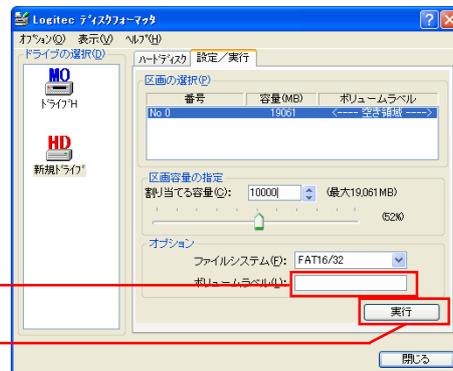
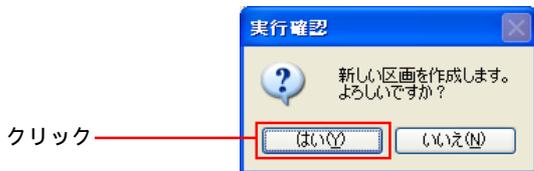
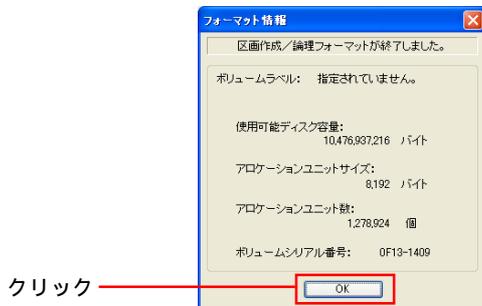
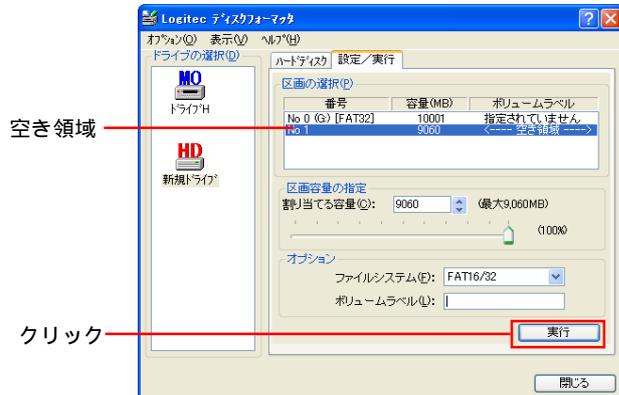
・間違ったドライブを選択しないように十分ご注意ください。

・フォーマットを行うと、ハードディスクに保存されているデータはすべて消去され、復旧することはできません。フォーマット対象のハードディスク内にデータが残っている場合、重要なデータはあらかじめバックアップをとっておいてください。

⑤ 次にツールバーの「オプション」から「フォーマット情報の削除」をクリックしてください。

⑥ 確認のメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてください。

⑦ フォーマット情報の削除が行われ、終了すると以下のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

⑧ メインウィンドウに戻りますので「設定／実行」タブをクリックしてください。

⑨ 新規のハードディスクをフォーマットする場合は、すべての容量が「区画の選択」に「空き領域」として表示されます。ここからまず最初のドライブとなる区画の容量を指定します。「区画容量の指定」で「割り当てる容量」を入力するか、スライダをドラッグして容量を指定してください。

※ Windows XP、2000をご使用の場合は、ここでファイルシステムを「NTFS」にすることをお勧めします。

⑩ 容量の指定が終了したら、最初のドライブとなる区画のフォーマットを行います。必要に応じて「ボリュームラベル」（ハードディスクの名前：半角11文字以内／全角5文字以内の任意の文字列を入力可能）を入力し、「実行」ボタンをクリックしてください。

⑪ 確認のメッセージが表示されます。フォーマットしてもよいことを確認してから、「はい」ボタンをクリックしてください。

⑫ 最初のドライブとなる区画のフォーマットが実行されます。終了すると、以下のウィンドウが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

⑬ メインウィンドウに戻ります。このドライブにはまだ「空き領域」が残っています。（下図の「区画の選択」の「No.1」を参照してください。）この空き領域は２番目のドライブとしてフォーマットすることができます。空き領域を２番目のドライブとしてすべてフォーマットする場合は、「区画容量の指定」は変更しないで、そのまま「実行」ボタンをクリックしてください。

※ もし、ハードディスクを３つ以上のドライブに分割する場合は、手順⑨と同様に「区画容量の指定」で２番目のドライブの容量を指定してから、「実行」ボタンをクリックしてください。

⑭ ⑪～⑫と同じ手順で２番目のドライブのフォーマットを実行してください。
以上でフォーマットは終了です。

Macintosh環境でフォーマットを行う場合

Macintosh 環境では、フォーマットは OS 標準の機能を使用します。
それぞれの OS のフォーマット手順は、下の項目をクリックしてご参照ください。

参照したい項目をクリックしてください。

Mac OS X でのフォーマット方法

Mac OS 9 でのフォーマット方法

ポイント

○ 本製品を Macintosh 環境のみでご使用になる場合は、「Mac OS 拡張」形式にて再フォーマットすることをお勧めします。「Mac OS 拡張」形式は、大容量ハードディスクを Macintosh 環境で使用するのに最適なフォーマット形式です。ただし、「Mac OS 拡張」形式で再フォーマットした場合、Windows 環境からはアクセスできなくなります。

Mac OS X でのフォーマット方法

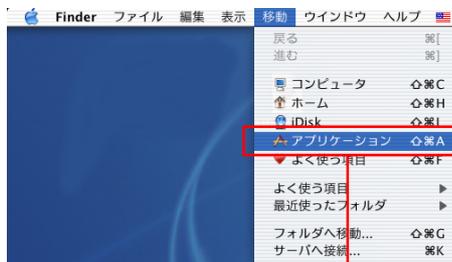
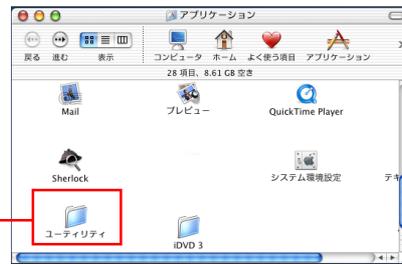
Mac OS X でのハードディスクのフォーマット手順は、以下をご参照ください。

フォーマット手順

ハードディスクのフォーマットには Mac OS X 標準のフォーマッタソフトウェア「ディスクユーティリティ（Disk Utility)」を使用します。

本製品をはじめて接続した際に､｢今セットしたディスクはMac OS Xで読み込めないボリュームが含まれています。｣というメッセージウィンドウが表示された場合は、ウィンドウ下部にある「初期化」ボタンをクリックして、手順④へお進みください。

① 本製品を接続後、メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択してください。

選択

② 「アプリケーション」ウィンドウが表示されます。ここで「ユーティリティ」フォルダをダブルクリックしてください。

ダブルクリック

③ 「ユーティリティ」フォルダの一覧の中から、「ディスクユーティリティ」をダブルクリックしてください。

ダブルクリック

④ Mac OS X の標準フォーマッタ「ディスクユーティリティ」が起動します。以下のように設定してフォーマットを行ってください。

1. 本製品のドライブ名を選択
2. 「消去」タブを選択
3. ボリュームフォーマットの欄で「Mac OS 拡張」を選択
4. 「名前」の欄に、本製品の名前を入力。（本製品がデスクトップにマウントされる際、ここに入力した名前が表示されるようになります）
5. 「消去」ボタンをクリック

⑤ 確認のメッセージウィンドウが表示されますので「消去」ボタンをクリックしてください。フォーマットが実行されます。

! 次ページの注意事項を必ずご参照ください。

ご注意

- すでにご使用の他のドライブを選択しないように十分ご注意ください。
- Mac OS 9環境でもご使用になる場合は、名前の下にある「Mac OS 9ディスクドライバをインストール」のチェックボックスにチェックを入れてください。

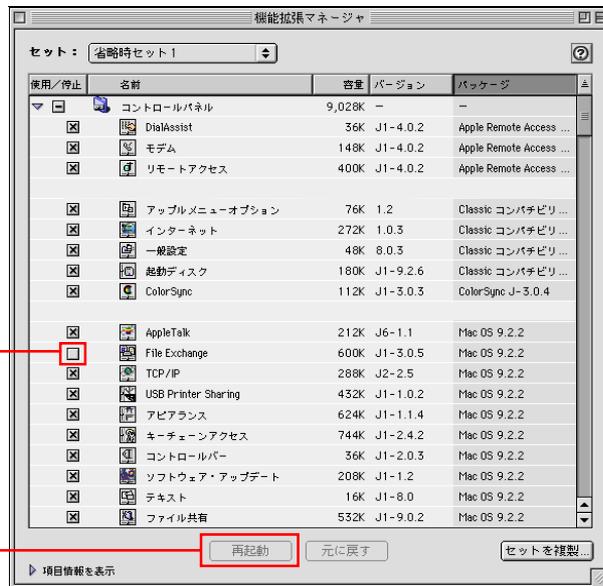
ポイント

- フォーマットは「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧 Mac と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。
- Mac OS X 10.0.4 〜 10.1.5 の環境では、フォルダ名やウィンドウ名に「Application」、「Utilities」等、一部アルファベットが使用されています。

この項目の先頭に戻る

Mac OS 9 でのフォーマット方法

Mac OS 9 でのハードディスクのフォーマット手順は、以下をご参照ください。

①「アップル」メニューから「コントロールパネル」→「機能拡張マネージャ」を開き、「File Exchange」を「停止」して、コンピュータを再起動してください。

② パソコンが再起動後、本製品を接続すると「このディスクはこのコンピュータでは読めません。ディスクを初期化しますか？」というメッセージとともに初期化のウィンドウが表示されます。ここで、必要に応じて名前を入力し、フォーマット形式に「Mac OS 拡張」を選択し、「初期化」ボタンをクリックします。

※「名前」を入力すると、本製品がデスクトップにマウントされる際、その名前が表示されるようになります。

※ 初期化が終わったら、「File Exchange」を「ON」に戻しておきます。

ポイント

- フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンの Mac OS と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。
- デスクトップ上の本製品のドライブアイコンをクリックし「特別」から「ディスクの初期化」をクリックしても、フォーマットを行うことは可能ですが、この方法で初期化を行う場合、「DOS（FAT32）」形式でフォーマットされているハードディスクはフォーマット形式の変更はできません。
いったん、Mac OS 拡張でフォーマット後に、再フォーマットを行う場合などにご使用ください。

補足説明

ここでは、各シリーズや接続形態に固有の機能について補足説明をいたします。
参照したい項目をクリックしてください。

PC 電源連動機能について（LHD-EC シリーズのみ）

LHD-EC シリーズは PC 電源連動機能を搭載しています。
PC 電源連動機能とは、パソコンの電源の ON/OFF に連動して LHD-EC シリーズの電源の ON/OFF を切り替える機能のことです。

いったん LHD-EC シリーズの電源を「AUTO」にしてパソコンに接続すれば、後はパソコンの電源の ON/OFF に連動して LHD-EC シリーズの電源も ON/OFF されます。LHD-EC シリーズの電源の ON/OFF は下表のように切り替わります。

動作	電源スイッチ		
	AUTO時	ON時	OFF時
起動中のパソコンに接続した時	ON	常にON	常にOFF
接続先のパソコンの電源をONにしたとき	ON		
接続先のパソコンがスリープや省電力モードから復帰したとき	ON		
IEEE 1394 / USB ケーブルを外したとき	OFF		
パソコンがシャットダウンしたとき	OFF		
パソコンがスリープや省電力モードになったとき	OFF		

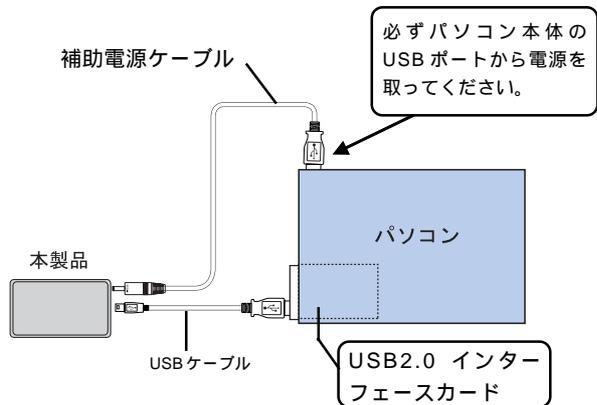
注意！

- Windows 98（Second Editon 含む）にて、本製品を接続してご使用の際、スタンバイ状態から復帰時にシステムが不安定になるような場合は、スタンバイ（省電力）を OFF に設定してください。

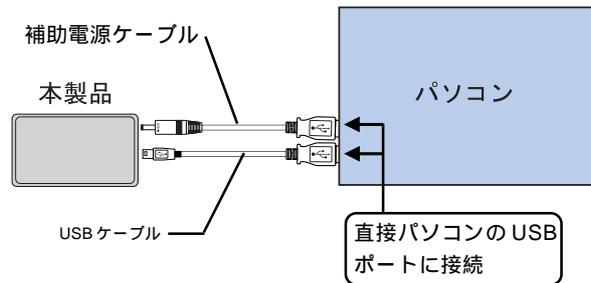
USB 補助電源ケーブルを使用する際の注意点（LHD-PBD シリーズ /LHD-PS シリーズ）

付属の USB 補助電源ケーブルは USB 接続時に、バスパワー供給電力が足りない場合に、ご使用ください。
USB 補助電源ケーブルを使用する場合は、下図のように接続してご使用ください。接続の際は必ず USB ケーブルを接続する前に、本製品に USB 補助電源ケーブルを接続してから、USB ケーブルで本製品とパソコンの接続を行ってください。

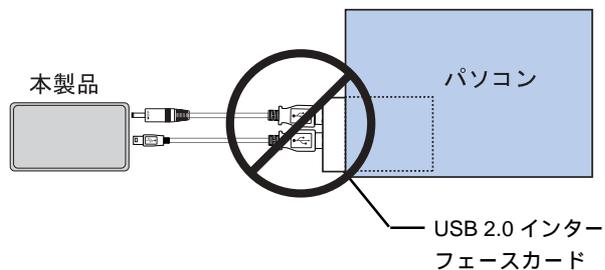
使用例１：

CardBus 対応の USB 2.0 インターフェースカードでバスパワー対応機器を使用する

※ 補助電源ケーブルのDCプラグはバスパワー対応機器（本製品）側に接続してください。

使用例２：

電源供給能力の低いUSBポートでバスパワー対応機器を使用する

次ページの注意事項もご参照ください！

注意事項 - 1

Card Bus 対応のUSB 2.0インターフェースカードのUSBポートに本ケーブルを接続し、本ケーブルのDCプラグをバスパワー対応機器に接続するのはお止めください。十分な電源供給を受けられません。

このように接続してはいけません！

注意事項 - 2

パソコンによっては、バッテリー駆動時にUSBバスパワーの供給を行わない機種があり、本ケーブルを使用できない場合があります。

その場合は別売のACアダプタ（LA-12W5S-02）をお求めください。

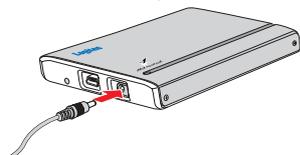
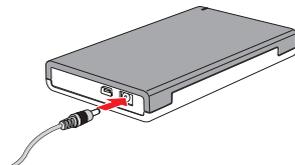
注意事項 - 3

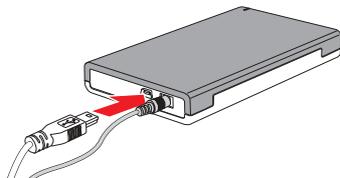
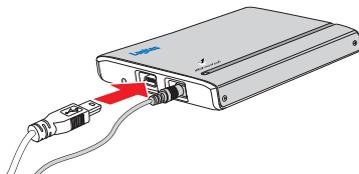
セルフパワー動作時、バスパワー動作時共に、動作中のUSB補助電源ケーブルの抜き差しは絶対行わないで下さい。不要なリセットや動作異常を招き、データを消失する危険性があります。

この項目の先頭に戻る

別売の AC アダプタを使用する際の注意点（LHD-PBD シリーズ、LHD-PS シリーズ）

AC アダプタを使用する場合は、必ずはじめに本製品に AC アダプタを接続し電源の供給を行ってから、USB ケーブルで本製品とパソコンの接続を行ってください。

①はじめに AC アダプタを接続します。

LHD-PBD シリーズの場合

LHD-PS シリーズの場合

②付属の USB ケーブルで本製品とパソコンを接続します。

⚠ 注意事項

セルフパワー動作時、バスパワー動作時共に、動作中のACアダプタの抜き差しは絶対行わないでください。不要なリセットや動作異常を招き、データを消失する危険性があります。

本製品用のACアダプタは以下の型番で弊社より販売されております。

型番：　LA-12W5S-02

Macintosh での起動ディスクの設定 （IEEE1394 接続時のみ）

Macintosh 環境で IEEE1394 接続にてご使用の場合、本製品を起動ディスクとして使用することができます。ここではその設定方法についてご説明いたします。

以下のモデルではパソコン側の仕様上の制限により起動ディスクに設定することができません。

- Power Mac G4 (PCI Graphics)
- Power Macintosh G3 Blue and White

以下のモデルで起動ディスクとして使用する場合、パソコン本体のファームウェアのバージョンを「2.4」以上にする必要があります。詳細は、アップルコンピュータ社の Web サイトをご参照ください。

- iMac DV
- Power Mac G4 (AGP Graphics)
- PowerBooK (FireWire)

■設定方法

Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 までの場合

①アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し「起動ディスク」を選択してください。

②本製品のシステムフォルダをクリックして選択状態にして、「再起動」ボタンをクリックしてください。

■設定方法

Mac OS X の場合

①アップルメニューから「システム環境設定」を選択し「起動ディスク」をダブルクリックして開いてください。

②本製品のシステムフォルダをクリックして選択状態にして、「再起動」ボタンをクリックしてください。

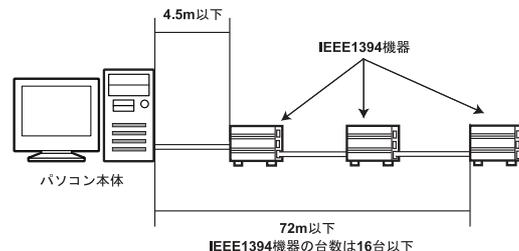
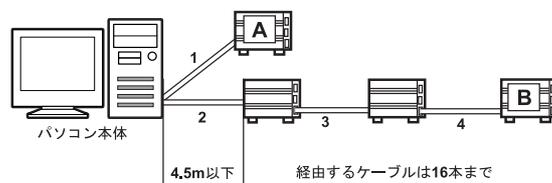
注意事項

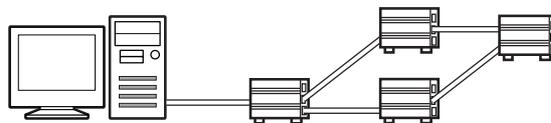
- インストールの際は必ずハードディスクを Mac OS 拡張にてフォーマットしてください。本製品の出荷時フォーマットである「DOS」フォーマットや「Mac OS 標準」フォーマットではシステムが正しく起動しない場合があります。これらのフォーマットでの使用はサポート対象外とさせていただきます。
- 本製品を起動ディスクに設定する場合は、必ず Mac OS 9.x または Mac OS X のインストール CD-ROM から本製品へシステムをインストールしてください。他の起動ディスクからシステムのコピーを行った場合、本製品を起動ディスクとしてご使用になれません。
- システム起動中に絶対に IEEE1394 ケーブルまたは AC アダプタを抜かないでください。
- 本製品からのシステム起動中はスリープ機能には対応いたしません。

IEEE1394 機器の増設について（IEEE1394 接続時のみ）

IEEE1394 コネクタが複数装備されている IEEE1394 機器は、パソコンとの接続に使用していないコネクタを使って IEEE1394 機器の数珠繋ぎによる増設（デイジーチェーン型）を行うことができます。

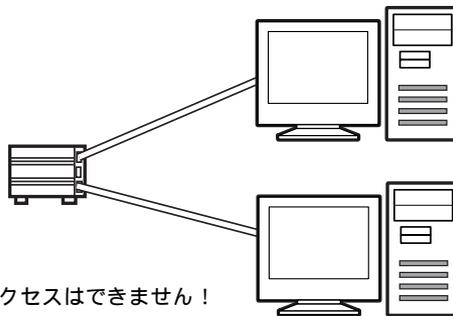
IEEE1394 機器は、数珠繋ぎによる増設（デイジーチェーン型）と、接続を分岐させる増設（ツリー方）の２つの方法で、機器を増設することができます。

- デイジーチェーン型では、１本のケーブルの長さは最大 4.5m まで、ケーブル長の合計は最大 72m までに制限されます。また IEEE1394 機器の台数は 16 台以下（パソコン本体を含まない）に制限されます。

- ツリー型では、１本のケーブルの長さは 4.5m まで、IEEE1394 機器間で経由できるケーブルの本数に最大 16 本という制限があります。接続台数は 62 台以下（パソコン本体を含まない）ですが、Windows 環境ではストレージ機器の台数はドライブ文字の限界（A:～ Z:でシステムが使用していないもの）に制限されます。

■ツリー型で増設する場合の注意

ツリー型で増設を行う場合、接続中にループ（たどってゆくと元に戻ってしまう接続）があってはいけません。

どれか１本のケーブルを外せばループが解消されるので OK です。

■その他の注意

複数のパソコンが１台の IEEE1394 機器を同時に使用することはできません。

この項目の先頭に戻る

本製品を接続したが認識されない。

A **ケーブルは正しく接続されていますか？**

パソコン側、本製品側共に正しく差し込まれているかを確認してください。

A **AC アダプタを接続して使用していますか？**

その場合は、電源スイッチの状態、電源コードを接続したコンセントの状態を確認してください。

A **本製品をハブ経由で接続していませんか？**

その場合は、パソコンのポートに本製品だけを直接接続して試してみてください。
ご使用の製品がバスパワー対応の場合、ハブから電源供給量だけでは、本製品が使用できない場合があります。また、USB 接続の場合は、バッテリ駆動時に USB ポートからの電源供給を行わない機種もあります。

A **ご使用の製品が、バスパワー対応の HD ユニットの場合、以下の点をご確認ください。**

○ パソコン本体やインターフェースボード（カード）などの仕様によっては電源供給性能の問題からバスパワーで十分に動作しない場合があります。その場合は付属の USB 補助電源ケーブル（USB 接続時のみ）をご使用ください。それでも、供給電量が足りない場合は、別売の AC アダプタ「LA-12W5S-02」をご使用ください。

※ AC アダプタまたは USB 補助電源ケーブルを使用した場合の本製品の接続については、**「補足説明」**内の「AC アダプタを使用する際の注意点」「USB 補助電源ケーブルを使用する際の注意点」をご参照ください。

本製品を接続したが認識されない（続き）。

特定の OS で認識されない場合、フォーマット形式が、その OS では対応していない可能性があります。
本製品を再フォーマットした場合、フォーマット形式が、ご使用の OS に合ったものであるかをご確認ください。

フォーマット形式 （ファイルシステム）	本製品の対応OSでの制限事項
NTFS	Windows XP、2000 で使用するためのフォーマット形式です。 Mac OS X 10.3 以降では読み込みのみサポートしています。 Windows Me、98、Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 、Mac OS X 10.0.4 ～ 10.2.8 環境では認識されません。
FAT 32	Windows 環境では全て認識されます。 Mac OS X 10.0.4 ～ 10.1.5では認識されません。 Mac OS X 10.2以降の場合、ハードディスクの容量が120 GBを超えると、容量制限の問題から認識されません。 Mac OS 9環境では、File Exchange が必要です。
HFS / HFS + （Mac OS 標準 / Mac OS 拡張 ）	Mac OS専用のフォーマット形式です。 Macintosh環境で、このフォーマット形式でフォーマットした場合、Windows環境では認識されなくなります。

Q 本製品から、システム起動ができない。

A ご使用のOSおよび、接続形態をご確認ください。

本製品はMac OS 9.1以降の環境でIEEE1394接続時の場合以外は、システムを起動することはできません。また、上記の環境でご使用の場合も、起動ディスクに設定するには、いくつか条件がございます。詳しくは「Macintoshでの起動ディスクの設定」をご参照ください。

Q Windows XP,2000で「ディスクの管理」が起動できない。

A 管理者権限のあるユーザーとしてログオンしていますか？

「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」）としてログオンしていなければなりません。

Q スリープ状態から復帰できない。

A パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法によりこのような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカから供給されるアップデートプログラムなどによりこの現象を回避できる場合もあります。スリープ状態から復帰できない場合は、スリープ（サスペンド）機能をOFFにしてご使用ください。

本製品の物理フォーマットができない。

本製品は物理フォーマットをサポートしていません。論理フォーマット（通常のフォーマット）のみでご使用ください。

USB 接続時にデータの転送速度が遅い。

USB 2.0 のポートに正しく接続されていますか。

- ○ USB 1.1 **のポートに接続されている場合、データの転送速度は** Full-Speed(12Mbps）**までとなります。**High-Speed（480Mbps）**でデータ転送を行うには** USB 2.0 **ポートに接続してください。**
- ○ **パソコン本体に**USB 2.0**ポートがない場合は別売りの**USB 2.0**インターフェースボード**（PCI **用インターフェースボード、もしくは** CardBus **対応** USB 2.0 **インターフェースカード）をご使用ください。**

オプション品について

弊社ではインターフェースボードやケーブルなどを別売品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

http://www.logitec-direct.jp

■ LHD-PBD シリーズ、LHD-PS シリーズ用 AC アダプタ

型番	ケーブル長	備考
LA- 12W5S- 02	1. 8 m	LHD- PBDU2、LHD-PSU2 対応品

■ PCI バス用 USB 2.0 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA- USB2VA	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP, Me, 98, 2000対応

■ CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM- CBUSB2HB	CardBus	インターフェースカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応

■ PCI バス用 IEEE1394 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA - 1394V	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP, Me, 98 SE, 2000対応

■ USB 2.0 High-Speed対応ケーブル

LHD-PBDシリーズ、LHD-PSシリーズ向け

型番	長さ	備考
CB- USB2AMB- 010	1. 0 m	シリーズ A ー mini B

LHD-ECシリーズ向け

型番	長さ	備考
CB- USB2AB- 005	0. 5 m	シリーズ A ー シリーズ B
CB- USB2AB- 010	1. 0 m	シリーズ A ー シリーズ B
CB- USB2AB- 030	3. 0 m	シリーズ A ー シリーズ B

■ IEEE1394ケーブル

型番	長さ	備考
CB- I66-021S	2.1 m	6ピン - 6ピン
CB- I66-011S	1.1 m	
CB- I66-006S	0.6 m	
CB- I64- 021S	2.1 m	6 ピン - 4 ピン
CB- I64- 011S	1.1 m	
CB- I64- 006S	0.6 m	

ハードウェア仕様

機種名			LHD- ECU2シリーズ	LHD- ECFU2 シリーズ	LHD- PBDU2 シリーズ	LHD- PSU2 シリーズ
インターフェース			USB 2.0 High- Speed （USB 1.1 互換）	IEEE 1394 USB 2.0 High- Speed （USB 1.1 互換）	USB 2.0 High- Speed （USB 1.1 互換）	USB 2.0 High- Speed （USB 1.1 互換）
ディスク回転数			7200 rpm	7200 rpm	5400 rpm	4200 rpm
最大データ　転送速度 *1			480 Mbps （USB High- Speed） 12 Mbps （USB Full- Speed）	400 Mbps （IEEE 1394） 480 Mbps （USB High- Speed） 12 Mbps （USB Full- Speed）	480 Mbps （USB High- Speed） 12 Mbps （USB Full- Speed）	480 Mbps （USB High- Speed） 12 Mbps （USB Full- Speed）
コネクタ形状			USB （シリーズ B）	IEEE 1394 6 ピン × 1 IEEE 1394 4 ピン × 1 USB （シリーズ B） × 1	USB mini- B	USB mini- B
環境条件 *2	動作時	温度	5℃ ～ 35℃	5℃ ～ 35℃	5℃ ～ 35℃	5℃ ～ 35℃
		相対湿度	20% ～ 80%	20% ～ 80%	20% ～ 80%	20% ～ 80%
	保管時	温度	- 20℃ ～ 50℃	- 20℃ ～ 50℃	- 20℃ ～ 50℃	- 20℃ ～ 50℃
		相対湿度	20% ～ 80%	20% ～ 80%	20% ～ 80%	20% ～ 80%
入力電圧			AC 100 V ± 10 % 50/60 Hz	AC 100 V ± 10 % 50/60 Hz	DC + 5 V （USB ポートより直接供給）	DC + 5 V （USB ポートより直接供給）
消費電力 (定格)			14.5 W	15.0 W	2.5 W	2.5 W
外形寸法　幅 × 奥行き × 高さ *3			37 × 210 × 123.6 mm	37 × 210 × 123.6 mm	79 × 136 × 16 mm	80 × 138 × 18 mm
重量			1.0 kg	1.0 kg	180 g	170 g

*1 理論値
*2 ただし結露なきこと
*3 本体のみ

※記憶容量については、製品のパッケージをご確認ください。

保証とサービスについて

製品には、保証書が添付されています。

- 保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

- 修理品については、弊社サービス窓口 にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。
  故障かどうか判断がつかない場合は、事前に下記弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

※ 弊社サービス窓口およびテクニカルサポートの連絡先については、**次ページの「ユーザーサポート窓口のご案内」をご参照ください**

- 保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

- 保証期間終了後の修理につきましては、「テクニカルサポートセンター」までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。（修理に代わって同等品と交換させていただく事があります）なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後５年間です。

※ FAX にてお問い合わせの場合は、巻末のお問い合わせ用紙をご利用ください。

ユーザーサポート窓口のご案内

● 製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

お問い合わせの際に次の①～③の内容をご確認の上、 弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。

①現在の状態（できるだけ詳しく）
②製品の名称/シリアル番号（保証書に記載されています）
③ご購入年月日、ご購入先

テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

〒396-0192　長野県伊那市美すず六道原８２６８　ロジテック株式会社　テクニカルサポート
TEL.　0570-022-022　FAX.　0570-033-034
受付時間：　月曜日～金曜日　9：00～12：00、13：00～18:00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）、ひかり（光）電話はご利用になれません。

● 郵送または宅配便にて修理依頼される場合のお願い

- 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所/電話番号)」「故障の状態」を書面にて添付してください。
- 保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

修理品送付先

〒396-0192　長野県伊那市美すず六道原8268
ロジテック（株）修理サポートセンター（３番受入窓口）

TEL：0265-74-1423　FAX：0265-74-1403
受付時間：　月曜日～金曜日　9：00～12：00、13：00～17:00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

この項目の先頭に戻る

Logitec テクニカルサポート宛（FAX：0570-033-034）

問い合わせ用紙

年　月　日

注意：記載内容は、正確に記載いただきますようお願いいいたします。

送付枚数　枚

■連絡先

ご氏名：

企業・学校名：

(連絡先が企業・学校の場合のみご記入ください。)

所属部課名：

住所：〒　　ー

電話番号:　　FAX 番号:

時間帯：

(より詳しい情報を確認させていただくことがあります。日中弊社より連絡の取れる電話番号と時間帯をご記入ください。尚、弊社の営業時間は、 9:00～12:00、13:00～18:00 です。)

■お問い合わせ製品

弊社製品名：　　シリアル番号：S/N

添付ユーティリティ：LST-　CD -　　Vol：

接続方法： ATAPI，SCSI，USB，IEEE1394，他(　　)

(何れかに丸を付けてください。他 の場合はカッコ内に接続方法をご記入ください)

使用ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ ﾒｰｶ名：　　ﾒｰｶ型番：

(弊社以外のインターフェースボードまたはカードに接続されている場合はご記入ください。)

■ご使用環境 (自作の場合は、ﾏｻﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ、ﾁｯﾌﾟｾｯﾄ、CPU の記載をお願いします。)

パソコンメーカ名：

パソコン型番：

(細かい型番モデル名までお書き添えください。)

ＯＳ：

他増設機器：

■問い合わせ内容

・お客様がわかる範囲でかまいませんので、できるだけ詳しくお書きください。